



観察を楽しむ高校生と児童たち＝豊明・ナガバノイシモチソウ保護地で

ナガバノイシモチソウ

## 一般公開前に観察会

沓掛小 4年生 珍しい食虫植物に興味

全国でも珍しい食虫植物「ナガバノイシモチソウ」が8月4日(土)から豊明市沓掛町の自然保護地で一般公開されます(6日まで)。

ナガバノイシモチソウは栄養分の少ない湿

明市に生息するアカバナは全国に2カ所にしかないと言われ県の指定天然記念物となっています。

「(植物は)食べない」と枯れちゃうし、(虫は)食べられちゃうとかわいそうだし」と小

明市に生息するアカバナは全国に2カ所にしかないと言われ県の指定天然記念物となっています。

沓掛小学校の4年生91人が訪れ観察会。同地の保護活動に携わ

ってきた県立豊明高校環境委員会(丸山大輝委員長)の生徒11人が解説者として児童の質問などに答えました。

学生は「知恵をこらし、自然界で生き抜く姿をしっかりと見てほしい。」と話し、

文化保護委員の浅井常典さん(70)は「日進市は」

学生は「知恵をこらし、自然界で生き抜く姿をしっかりと見てほしい。」と話し、文化保護委員の浅井常典さん(70)は「日進市は」

公開を前に保護地には、沓掛小学校の4年生91人が訪れ観察会。同地の保護活動に携わ

ってきた県立豊明高校環境委員会(丸山大輝委員長)の生徒11人が解説者として児童の質問などに答えました。

学生は「知恵をこらし、自然界で生き抜く姿をしっかりと見てほしい。」と話し、文化保護委員の浅井常典さん(70)は「日進市は」